



## 11月は心かがやけ月間です！ ご協力をよろしくお願いいたします。

熊本市は、「豊かな心を育む教育の推進」に力を入れており、特に11月は、学校・家庭・地域が連携して子供たちの豊かな心を育むための様々な取り組みを行うことになっています。本校でも「感動・感謝する心、郷土を愛する心、いのちを大切に作る心や規範意識」などを育むために、取り組んでいく予定です。

その一つに、朝のあいさつ運動があります。正門・南門・東門に分かれ、学級ごとにあいさつ運動をします。11月1日は6年生からのスタートでした。さわやかな「おはようございます！」が飛び交い、元気がでますね。また、通年で行っている毎週火曜朝のボランティア活動にも今回は、特に力が入るのではないのでしょうか。

11月下旬は、「親子道徳の日」もあります。道徳の授業で話し合ったことや、考えたことを家庭に持ち帰り、ご家庭でも話題にさせていただくことになっています。子供たちの豊かな心を育むために、お忙しいとは思いますが、ぜひ保護者の方々のご協力をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



## 11月の学校朝会

今月は、上記の「心かがやけ月間」にちなんで、以下のような話を子供たちにしました。

「あいさつ」について、みんなと考えたいと思います。「あいさつ」というとどんな言葉がありますか。「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」「さようなら」・・・。

どうして、あいさつをするのかな。「あいさつ」は漢字で書くと「挨拶」となります。

もともとは、『一挨拶』(いちあい いっさつ)という禅宗の言葉からきたようです。禅宗のお坊さんが、弟子の悟りの深さを確かめるために繰り返し問答をすることをいうのだそうです。

「挨拶」は、「かるく前におす。心をひらく。」「拶」は、「相手にせまる。近づく。すりよる。」という意味があります。つまり、「お互いの心を開き、相手の心に近づく」という意味になりますね。確かに、「おはようございます」「こんにちは」の「あいさつ」は短い言葉ですが、この言葉が相手との距離を縮め、交わすことで親しみが湧いてきますね。この言葉をきっかけに、コミュニケーションもスムーズになりますね。あいさつする側もされる側も心を開き、近づくことで良好な関係になります。

「あいさつ」は、相手との心を開く言葉、相手へのねぎらいや気遣いの気持ちが込められた言葉、そして、相手に希望や勇気を与える言葉です。私にとっても、毎朝皆さんからもらう「あいさつ」は、とても清々しく「今日も一日頑張ろう」という元気をもらえる言葉です。「魔法の言葉」ですね。元気なあいさつの声が溢れる若葉小にしたいですね。